

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 2 9 日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 豊橋市立花町26番地2	
氏名 藤城建設株式会社	
代表取締役 藤城 匡昭	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-31-4131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	藤城建設株式会社
事業場の所在地	豊橋市立花町26番地2
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 22 億
③ 従業員数	76 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら・アスファルトがら・その他がれき類 → 中間処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず・紙くず・金属くず・繊維くず → 中間処理業者に委託して再資源化 廃プラスチック類 → 中間処理業者に委託して燃料またはチップとして再資源化 汚泥 → 中間処理業者に委託して脱水処理 → 最終処分場 ガラス・陶磁器くず・混合物(安定型)・石綿含有混合物・廃石綿類 → 最終処分業者にて埋立処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 廃棄物管理組織表 社長 環境管理責任者 社内管理部署 施工部署 総務部 品質管理部 営業部 企画部 安全管理部 環境管理部 土木部 土木作業所 建築部 建築作業所 協力会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・梱包材の簡素化を徹底する。 ・丁張材については、再生用をて徹底し極力使用量を抑える。 ・現場内に再利用できるものは、極力利用する。		
②計画	【目標】 ※別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包材の簡素化を徹底する。 ・丁張材については、再生用をて徹底し極力使用量を抑える。 ・現場内に再利用できるものは、極力利用する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 本社 倉庫にて、廃棄物の種類毎に、ボックスを置き分別収集を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 本社 倉庫にて、廃棄物の種類毎にボックスを置き分別収集を実施。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 ※別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 ※別紙参照		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		※別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		— t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】 ※別紙参照			
	産業廃棄物の種類		—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		— t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		※別紙参照	
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

	②計画	【目標】 ※別紙参照		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量		t
			優良認定処理業者への処理委託量	t
			再生利用業者への処理委託量	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(単位：t/年)

産業廃棄物の種類 (名称)		石綿含有廃 プラスチック類	汚泥 [県内処理]	汚泥2 [県外処理]	紙くず	木くず	繊維くず	混合物 (管理型)	石綿含有 がれき類	合計
項目										
令和6年度の実績	令和6年度の産業廃棄物発生量	1	1	160	29	365	0	146	0	
	①自ら再生利用した量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	③自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤全処理委託量	1	1	160	29	365	0	146	0	
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑦再利用業者への処理委託量	0	0	0	29	365	0	146	0	
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	
令和7年度の目標	令和7年度の産業廃棄物発生量	10	50		20	200	10	10	10	
	①自ら再生利用した量	0	0		0	0	0	0	0	
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0	0		0	0	0	0	0	
	③自ら中間処理により減量した量	0	0		0	0	0	0	0	
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0	0		0	0	0	0	0	
	⑤全処理委託量	10	50		20	200	10	10	10	
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0	0		0	0	0	0	0	
	⑦再利用業者への処理委託量	0	0		20	200	10	0	0	
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0	0		0	0	0	0	0	
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0		0	0	0	0	0	

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(単位：t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)	石綿含有 混合物	廃石綿類						合計
令和6年度の実績	令和6年度の産業廃棄物発生量		0	7						
	①自ら再生利用した量		0	0						
	②自ら熱回収を行った量(t/年)		0	0						
	③自ら中間処理により減量した量		0	0						
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0						
	⑤全処理委託量		0	7						
	⑥優良認定処理業者への処理委託量		0	0						
	⑦再利用業者への処理委託量		0	0						
	⑧認定熱回収業者への処理委託量		0	0						
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	0						
令和7年度の目標	令和7年度の産業廃棄物発生量		10	10						
	①自ら再生利用した量		0	0						
	②自ら熱回収を行った量(t/年)		0	0						
	③自ら中間処理により減量した量		0	0						
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		0	0						
	⑤全処理委託量		10	10						
	⑥優良認定処理業者への処理委託量		0	0						
	⑦再利用業者への処理委託量		0	0						
	⑧認定熱回収業者への処理委託量		0	0						
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	0						

(第 1 面)

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 委託時マニフェスト記入 事業主（総合責任者） 場長 （廃棄物管理に係る全ての実務担当）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1605 t	8 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1800 t	8 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	8 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	8 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（2024年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体		
	全処理委託量	1605 t	8 t		
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
		再生利用業者への処理委託量	1605 t	8 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)				

(第5面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		動物の糞尿	動物の死体
		全処理委託量		1800 t	8 t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	1800 t	8 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

〇〇年度の産業廃棄物発生量及び〇〇年度の目標

(単位：t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)								合計
〇 年 度 の 実 績	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
〇 年 度 の 目 標	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 委託時マニフェスト記入 事業主（総合責任者） 場長 （廃棄物管理に係る全ての実務担当）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1605 t	8 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1800 t	8 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	8 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	8 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（2024年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		動物の糞尿	動物の死体
	全 処 理 委 託 量		1605 t	8 t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への処 理 委 託 量	1605 t	8 t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		動物の糞尿	動物の死体
		全処理委託量		1800 t	8 t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	1800 t	8 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

〇〇年度の産業廃棄物発生量及び〇〇年度の目標

(単位：t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)								合計
〇 年 度 の 実 績	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
〇 年 度 の 目 標	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書		令和7年 5月30日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 豊橋市中郷町 7 番地		
氏名 東三建設株式会社 代表取締役 柴田督子		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532 - 31 - 3171		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	東三建設株式会社	
事業場の所在地	豊橋市中郷町 7 番地	
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
	① 事業の種類	0 6 : 総合工事業
	② 事業の規模	元請完成工事高 : 37, 712. 4万円
	③ 従業員数	4 2 人
	④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事(道路、土木) ・がれき類 →再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・汚泥(建設処理汚泥) →再生処理業者に委託して、改良土として再資源化 ・木くず →再生処理業者に委託して、燃料チップとして再資源化 ・金属くず →再生処理業者に委託して、製鉄原料として再資源化 ・ガラス・陶磁器くず →再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・混合廃棄物 →最終処分業者に委託して、埋立処分

(日本工業規格 A 列 4 番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社工事部 ↓ 工事部長(廃棄物処理総括責任者) ↓ 工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者) ↓ 産業廃棄物処理施設			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥(建設処理汚泥)
	排 出 量	3,504.78 t	3.92 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥(建設処理汚泥)
	排 出 量	3,500.00 t	3.00 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場における廃棄物の分別の徹底。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社工事部 ↓ 工事部長(廃棄物処理総括責任者) ↓ 工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者) ↓ 産業廃棄物処理施設			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排 出 量	16.36 t	1.50 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排 出 量	16.00 t	1.00 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場における廃棄物の分別の徹底。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社工事部 工事部長(廃棄物処理総括責任者) 工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者) 産業廃棄物処理施設			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	排 出 量	0.73 t	0.93 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	排 出 量	0.70 t	0.90 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場における廃棄物の分別の徹底。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥(建設処理汚泥)
	全処理委託量		3,504.78 t	3.92 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	3,504.78 t	3.92 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず		金属くず
	全処理委託量	16.36 t		1.50 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	16.36 t	1.50 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず		混合廃棄物
	全処理委託量	0.73 t		0.93 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0.73 t	0.93 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥(建設処理汚泥)
	全処理委託量		3,500.00 t	3.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	3,500.00 t	3.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
	今まで通り、再生処理業者へ委託し、再資源化に努める。			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		木くず	金属くず
	全処理委託量		16.00 t	1.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	16.00 t	1.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
	今まで通り、再生処理業者へ委託し、再資源化に努める。			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	全処理委託量		0.70 t	0.90 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0.70 t	0.90 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
	今まで通り、再生処理業者へ委託し、再資源化に努める。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

R7年 5月 26日

豊橋市長 殿

提出者

住所

愛知県豊橋市細谷町字中ノ島97番地の2
彦坂牧場株式会社

氏名

代表取締役 彦坂光廣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

21-7087

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	彦坂牧場(株)
事業場の所在地	細谷町字中ノ島97-2
計画期間	R6.4.1 ~ R7.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	農業
② 事業の規模	肉用牛 500頭
③ 従業員数	3
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	ふん尿 堆肥 死体 化製場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物処理の決定
↓
管理

委託の委託

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ふん肥	死体
	排出量	800 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん肥	死体
	排出量	800 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

堆肥作り、多くの農家に利用(2t)3

体調管理をし病畜を出さない

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3. 4 Bc	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 向から堆肥へ 農家に利用してもらう		
※事務処理欄			

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(単位: t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)								合計
6 年 度 の 実 績	令和4年度の産業廃棄物発生量		800							800
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
7 年 度 の 目 標	令和5年度の産業廃棄物発生量		800							800
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	820	t
	(これまでに実施した取組)		
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	820	t
	(今後実施する予定の取組)		
良質の堆肥作り多くの農家に利用 体調整理を良くし病畜を減らす			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	— t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		